

Dairy Support Tsubetsu's Operations and Future Outlook



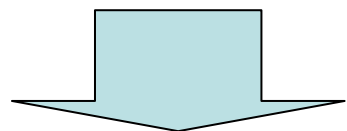
代表取締役

玉置 豊

地域酪農経営の課題

規模拡大にともなう飼養頭数、土地
面積の増加

労働力の限界
機械・施設投資の負担増



生活にゆとりがない
担い手が育たない



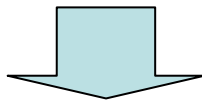
課題解決に向けて

平成12年 飼料生産コントラクターの可能性について検討
(士別市酪農組合連合会)

・地域の実態を調査

・他地域のコントラクター先進地事例視察

・シミュレーション、検討会の実施



この地域には合わない

・圃場が小さく分散

・コントラに対応する施設が整っていない

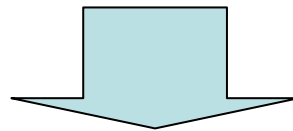
・作業順による不公平感



課題解決の方向性

(答申) ~平成13年4月~

酪農家が所有している飼料畑の管理から収穫・貯蔵、
TMR (混合飼料) 製造、配送までをシステムとして一
体的に取り組むことが士別地域として望ましい



自給飼料供給システム検討委員会の設置

- ・TMR供給センター視察
- ・検討会、地区別懇談会、全体会議
- ・システムの規模、方法の検討



(有)ディリーサポート士別の設立

平成13年11月 士別市の酪農家43戸の内
23戸で設立

平成15年 8月 TMRの供給に向けて準備を行う



(有)ディリーサポート士別の目指す方向

酪農家から一切の圃場作業を切り離す

年間労働力の平準化
機械投資の最小化
家畜の飼養管理に充当する時間の確保

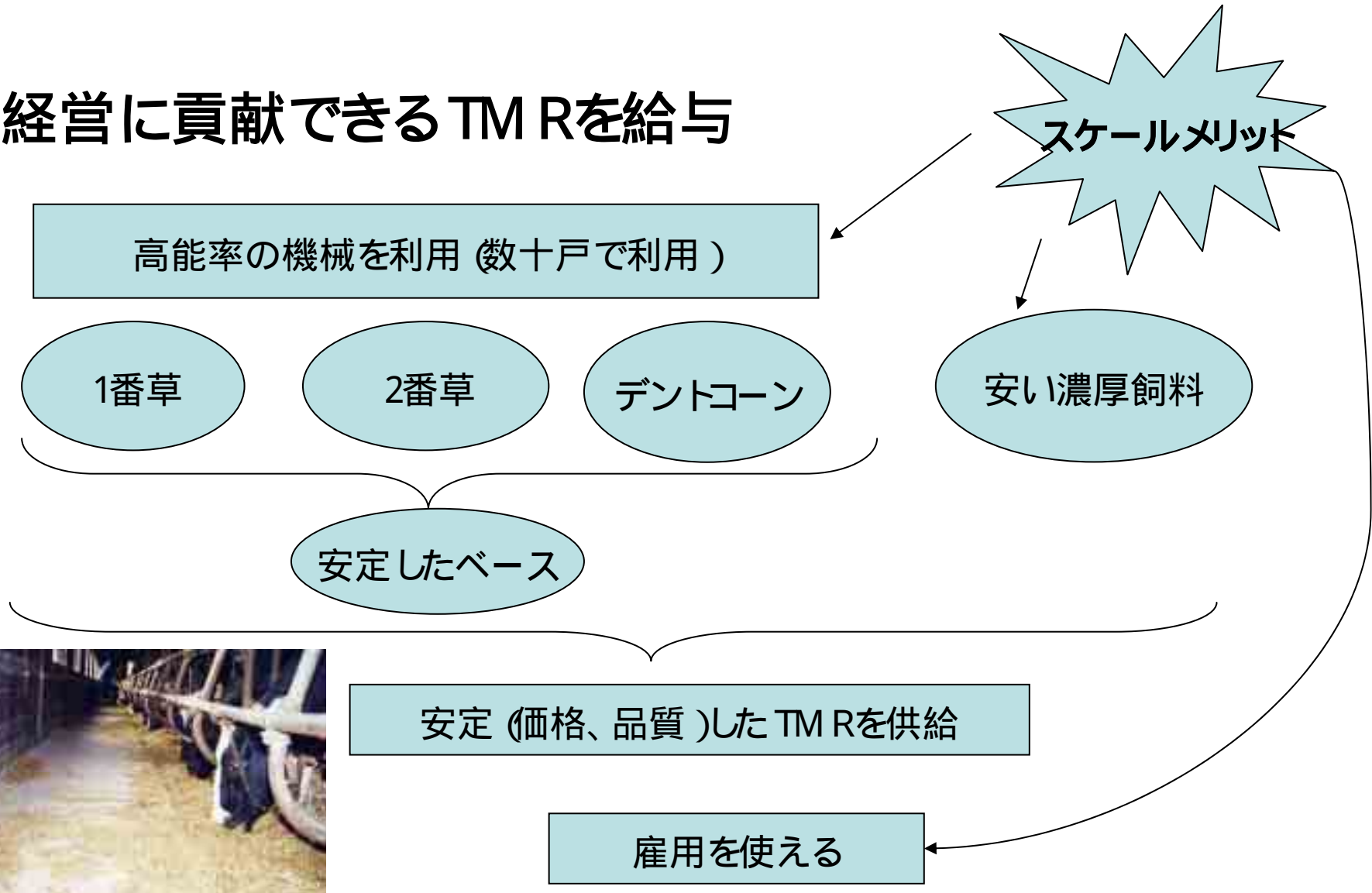
規模拡大が可能になる
事故疾病の早期発見



地域酪農の発展
新規参入が容易

(有)デリーサポート士別の目指す方向

経営に貢献できるTMRを給与



施設・機械の導入

- バンカーサイロ (1100トン×23基)
 - 飼料調製棟
 - 収穫機械 等
- (畜産再編総合対策事業)
- 構成員からの機械の借り上げ機械



コスト低減を目指して

(1) デントコーン栽培面積拡大

(簡易耕起栽培の導入)

平成13年120ha 平成15年実績314ha

(2) 運送作業等の外部委託による機械償却費の低減

(3) 資材の大量購入による低価格化

(4) 機械の稼働効率を高めるため圃場の団地化と境界の撤去



デントコーン簡易耕起栽培



原料草運搬の委託

TM R供給の効率化をはかるために

TM R圧縮梱包・ビニールパッキング

複数メニューの同時配送

品質の保持

輸送費の低減

病気の蔓延防止



圧縮したものをさらに空気を抜く



ビニールパック輸送 (ビニールは使い捨て)

安定してTMRを供給するために

構成員農場で病気等が発生した場合でも、TMRの配送に支障を来さないシステムの確立

座布団殺菌棟の設置

(チャレンジ21事業)

TMR配送時における通い容器



座布団を蒸気殺菌する



座布団の使い方

TMR給与の効果

H15 H16の推移(23戸合計)

月別出荷乳量

H15.6

864t

H16.6

974t (112%)

乳牛頭数

H15.7末

経産牛

1230頭

H16.7末

1293頭 (105%)

乳検検定乳量 (年間) ~ 乳検加入農家 19戸 ~

H15.9

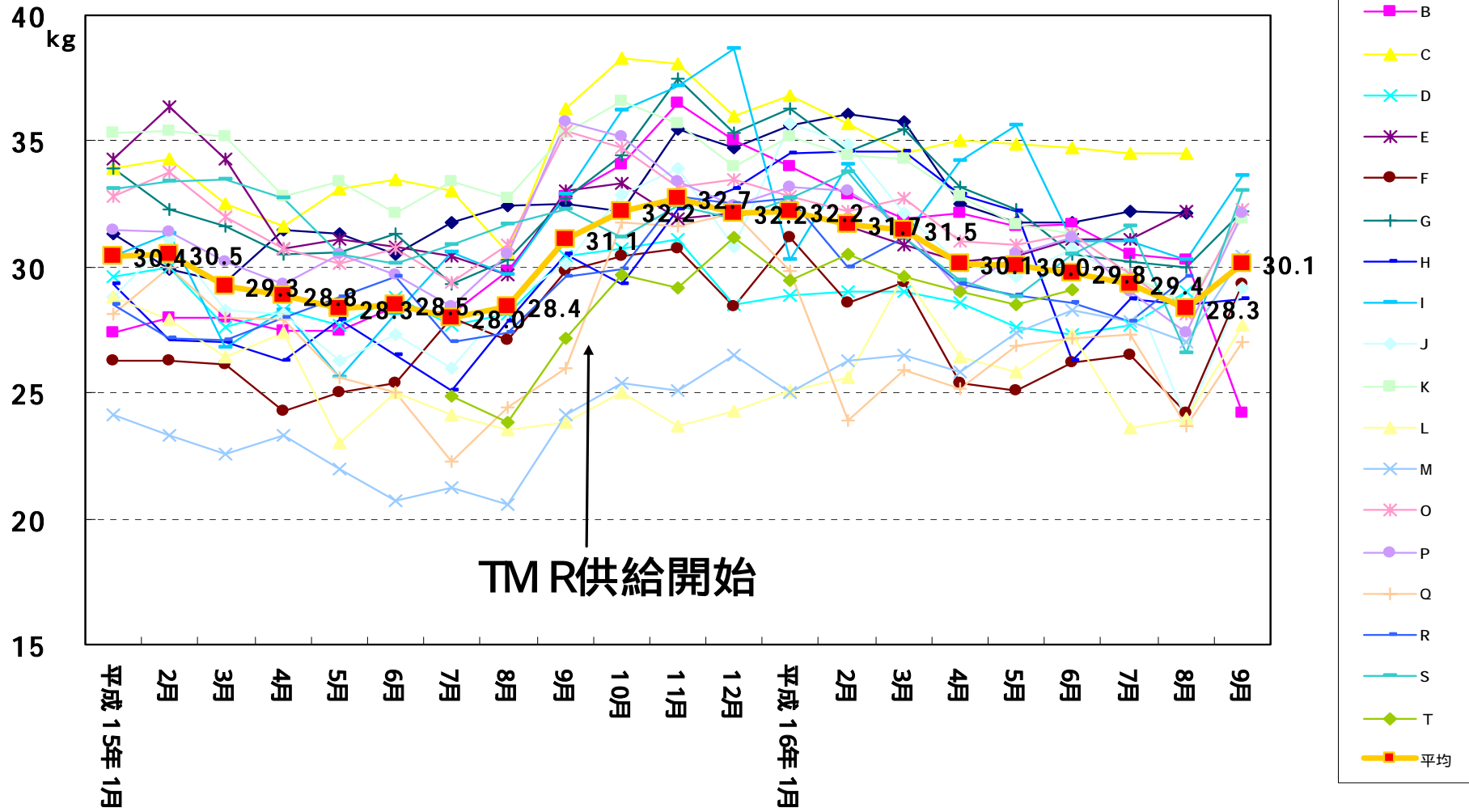
8,799kg

H16.7

9,402kg(106.9%)

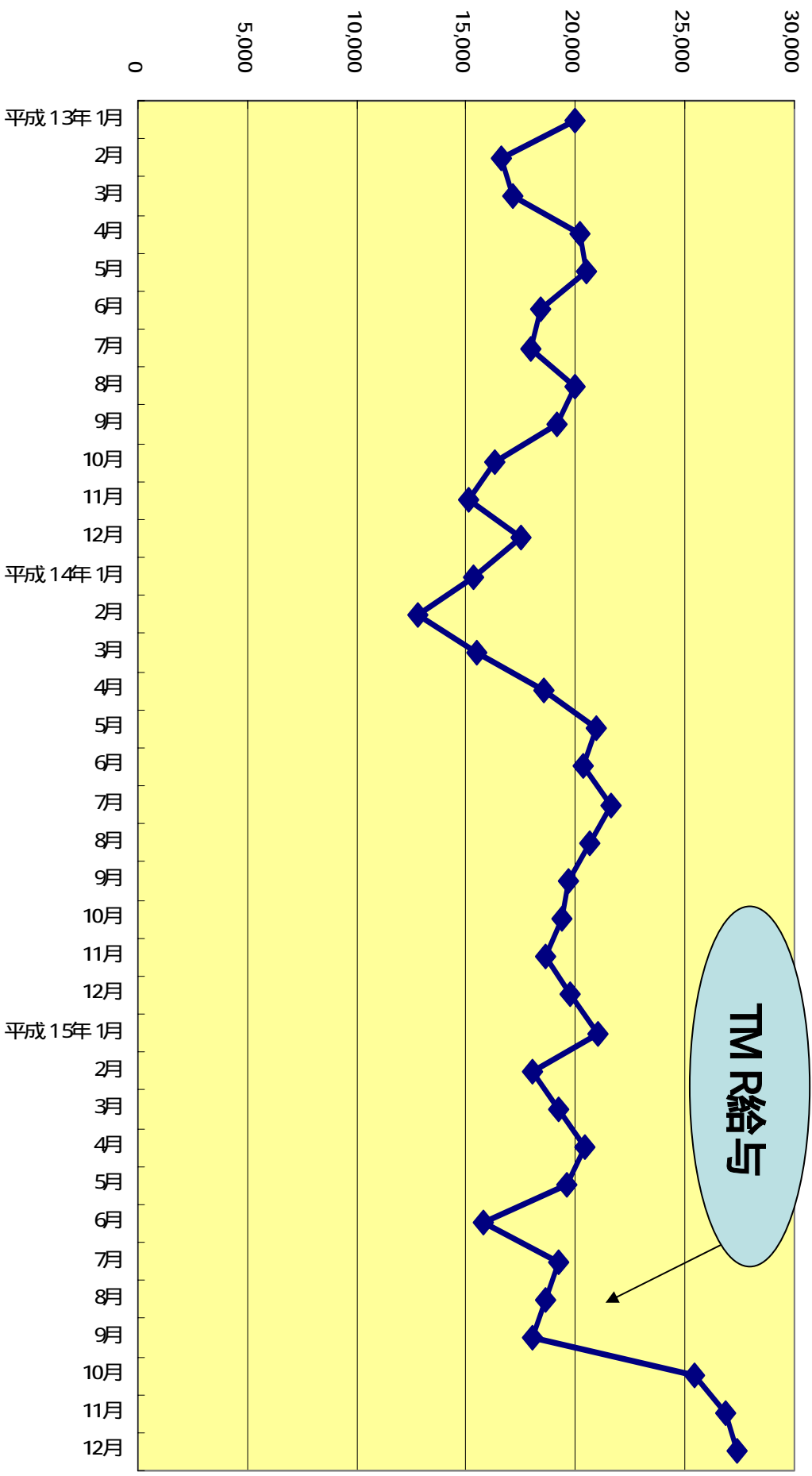
TMR給与の効果

管理乳量の推移 (乳検) kg

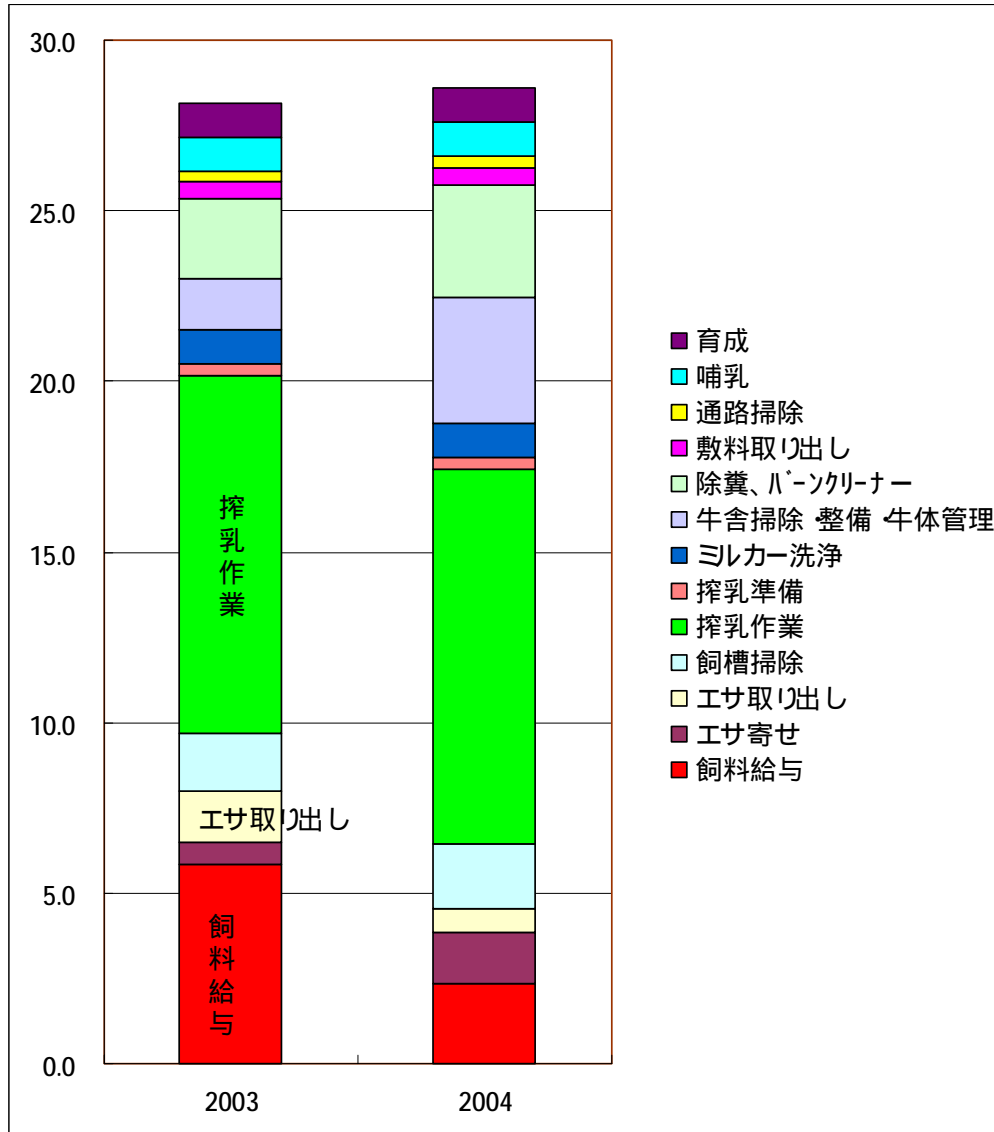


TM R給与の効果 (A氏の事例)

バルクに入らさない! (隔日集荷 毎日集荷)



労働時間の推移 (B氏 聞き取り)



給餌車利用, TMR給与による飼料給与時間と重労働の軽減

牛舎清掃 整備 牛体管理の特化

搾乳に全員参加 牛の観察

年間通しての労働の平準化

祖父母の労働時間の軽減 (休息や趣味の時間)

今後の方向

原料草の品質安定

・飼料畑の団地化

・計画的な更新

TM R効果を引き出す乳牛飼養管理技術の指導

防疫対策のさらなる強化

・参加農家の防疫を徹底

新規参入受け入れ体制の整備

～ 最終目標 ～

構成員の経営安定



おわり

